

ピエール・ブーレーズ  
追悼公演  
Programed by Maurizio and Marilisa Pollini

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016-  
SPRING FESTIVAL IN TOKYO TOKYO OPERA NOMORI 2016

東京  
春祭  
TOKYO OPERA NOMORI

ポリーニ・プロジェクト Pollini Project

# Berio, Boulez, Beethoven

～ポリーニ・プロデュースによる室内楽

BERIO,  
BOULEZ,  
BEETHOVEN

第一夜

ジャック四重奏団

ヴァイオリン:クリストファー・オットー

ヴァイオリン:アリ・ストレイスフェルド

ヴィオラ:ジョン・ピックフォード・リチャーズ

チェロ:ケビン・マクファーランド

第二夜

ヴィオラ:クリストフ・デジャルダン  
フルート:工藤重典  
ハープ:篠崎和子

オーボエ:古部賢一  
クラリネット:アラン・ダミアン  
ファゴット:パスカル・ガロワ

ベリオ:《セクエンツァ》より

I. フルートのための II. ハープのための VI. ヴィオラのための  
ブーレーズ:《弦楽四重奏のための書》より I II III

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調 op.74 《ハープ》

ベリオ:《セクエンツァ》より

VII. オーボエのための IX. クラリネットのための XII. ファゴットののための  
ブーレーズ:《弦楽四重奏のための書》より V VI

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 op.135

JACK Quartet Violin:Christopher Otto Ari Streisfeld Viola:John Pickford Richards Cello:Kevin McFarland

Viola:Christophe Desjardins  
Flute:Shigenori Kudo  
Harp:Kazuko Shinozaki

Oboe:Ken-ichi Furube  
Clarinet:Alain Damiens  
Bassoon:Pascal Gallois

Berio:"Sequenza"

I. for Flute II. for Harp VI. for Viola  
Boulez:"Livre pour quatuor" I II III

Beethoven:String Quartet No.10 in E-flat major op.74 "Harp"

Berio:"Sequenza"

VII. for Oboe IX. for Clarinet XII. for Bassoon  
Boulez:"Livre pour quatuor" V VI

Beethoven:String Quartet No.16 in F major op.135

プレトーク:ブーレーズに寄せて

第一夜、第二夜とも、18時40分より、船山隆氏(音楽学者)によるプレトーク「ブーレーズに寄せて」を行います。

※当日の本公演チケット(お求めの公演日)をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます(ご予約不要)。

4/14 19:00  
[木]

April 14 [Thu.] at 19:00

東京文化会館  
小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

4/15 19:00  
[金]

April 15 [Fri.] at 19:00

2公演セット券 ¥9,300 S¥5,200 A¥4,100 U-25¥1,500 (税込) [U-25は公式サイトのみで取扱い]

主催:東京・春・音楽祭実行委員会 共催:KAJIMOTO 助成:公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

CHAMBER MUSIC PRODUCED BY POLLINI

# ポリニ・プロジェクト ベリオ、ブーレーズ、ベートーヴェン～ポリニ・プロデュースによる室内楽 Pollini Project Berio, Boulez, Beethoven- Chamber music produced by Pollini

音楽史上最大の開拓者(パイオニア)であるベートーヴェンと、現代の作曲家たちを組み合わせることで、300年以上の時を超え共通する試みを体現してきたピアニスト、ポリニがプロデュースする最高峰で最先端の室内楽。爆発的なヴィルトゥオーゾと評判が高いジャック弦楽四重奏団と、セクエンツァに欠くことのできない超一級奏者たちがここに揃います。



© Stephen Pott

## ジャック四重奏団 JACK Quartet

イーストマン音楽院で出会ったメンバー 4人の頭文字(JACK)をとって命名。弦楽四重奏曲の演奏と委嘱に力を注ぎ、意欲的な活動を展開。多くの新作を初演するとともに、数々の音楽賞に輝く。プリンストン大学、イェール大学、ハーバード大学等でワークショップを開講。

## クリストファー・オットー (ヴァイオリン) Christopher Otto (Violin)

イーストマン音楽院で学ぶ。ジョン・ゾーンのヴァイオリン協奏曲《Contes de Fées》を初演・録音。ブライアン・ファーニホウ《Terrain》をアンサンブル・シグナルと演奏。作曲家として弦楽四重奏、ヴァイオリン二重奏・八重奏、ヴァイオリンと電子楽器の作品等を発表。

## アリ・ストレイスフェルド (ヴァイオリン) Ari Streisfeld (Violin)

イーストマン音楽院で音楽学士を、ノースウェスタン大学で音楽修士号を、ボストン大学で音楽芸術修士号を取得。ソリストとしてアンサンブル・シグナルやワードレス・ミュージック・オーケストラ等の現代音楽アンサンブルと共演。音楽学校で後進の育成にも従事している。

## ジョン・ピックフォード・リチャーズ (ヴィオラ) John Pickford Richards (Viola)

イーストマン音楽院卒業。ジャック四重奏団以前は、現代音楽のアンサンブル、アラーム・ウィル・サウンドを創設し、カーネギー・ホールやリンカーン・センター等で活動。ブーレーズ指揮ルツェルン祝祭アカデミー管と共演し、ベリオ《Chemins II》のヴィオラ独奏を担当。

## ケビン・マクファーランド (チェロ) Kevin McFarland (Cello)

イーストマン音楽院で音楽学士を取得。アンサンブル・シグナルでの活動に加え、アラーム・ウィル・サウンド、インターナショナル・コンテンポラリー・アンサンブル他にも客演。新作の演奏者、独奏チェリスト、即興者等、多彩な顔を持ち、作曲家としても活躍している。

## クリストフ・デジャールダン (ヴィオラ) Christophe Desjardins (Viola)

創作と演奏に取り組むヴィオラ奏者。アンサンブル・アンテルコンタンポランのメンバーを20年間務める。ロイヤル・コンサートヘボウ管、北ドイツ放響等と共演。ベリオ、ブーレーズ、リームらの諸作品を初演。楽器はフランチェスコ・ゴッフリー(ヴェネチア、1730年)。



## 工藤重典 (フルート) Shigenori Kudo (Flute)

パリ国立高等音楽院のJ-P.ランパルのクラスを一等賞で卒業。パリ国際フルート・コンクール、ミュンヘン国際音楽コンクール、ランパル国際フルート・コンクール等で入賞。多くの楽団と共演し、水戸室内管では首席奏者。村松賞、フランス共和国大統領賞、京都芸術祭特別賞他を受賞。



© 武田 隆

## 篠崎和子 (ハープ) Kazuko Shinozaki (Harp)

桐朋学園大学、ニース音楽院を卒業。1998年UFAM国際音楽コンクール・ハープ上級部門第1位他、受賞歴多数。第36回エフノンモービル音楽賞・洋楽部門奨励賞、第19回出光音楽賞。パリ留学を経て、2004年に帰国。ソロ活動に加え、リサイタル、室内楽、音楽祭等で活躍。



© 黒田 隆

## 古部賢一 (オーボエ) Ken-ichi Furube (Oboe)

東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学大学院で学ぶ一方、シモン・ゴールドベルクの薫陶も受ける。1991年、新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者に就任。音楽祭、リサイタル、室内楽等で活躍し、近年は古楽器の演奏も行なう。林光のソナタを自ら委嘱・初演した。



© 土屋 英樹

## アラン・ダミアン (クラリネット) Alain Damiens (Clarinet)

パリ国立高等音楽院を首席で卒業。ストラスブル・フィルの首席奏者を経て、1976年アンサンブル・アンテルコンタンポランに加わり、ブーレーズ《二重の影の対話》他、多数の作品を初演。ストラスブル音楽院とパリ国立高等音楽院の教授やマスタークラスの講師を務める。



## パスカル・ガロワ (ファゴット) Pascal Gallois (Bassoon)

ソリスト、アンサンブルのメンバー、パリ国立高等音楽院の講師、指揮者等、多方面で活躍。パリ国立高等音楽院でモリス・アラルに師事。1981年からアンサンブル・アンテルコンタンポランのメンバー。ベリオ《セクエンツァ XII》やシュツックハウゼンの新作を初演。



# 東京・春・音楽祭

-東京のオペラの森2016-

3.16 Wed.-4.17 Sun.

春が訪れ  
桜がひらいて  
音楽が始まる  
上野の森に

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う——明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1か月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約130公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとつに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭-東京のオペラの森2016-」が東京—上野の春を美しく彩ります。

## チケットのお申込み

東京・春・音楽祭チケットサービス

お電話でのお申込み

03-3322-9966

オペレーター対応【営業時間 10:00-18:00 土日祝・休】※音楽祭開催期間中は土日祝日も営業いたします。

オンライン <http://www.tokyo-harusai.com/>

(座席選択可・登録無料)

公式サイト  
限定の  
嬉しい  
サービス!



公式サイト内オンライン・チケットサービス限定で、左記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や座種および、取扱チケット枚数は限定されており、詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

●東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650(オペレーター)

●チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/>

0570-02-9999(音声自動応答)

◎781-991(セット券) 597-881(各回券)

●ローソン・チケット <http://l-tike.com/harusai/>

0570-084-003(音声自動応答)

◎L31412(セット券・各回券共通)

●e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>

公演に関するお問合せ  
東京・春・音楽祭実行委員会  
03-5205-6497



※車椅子席、団体での鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※掲載の曲目は、当日の演奏順と異なる可能性があります。※掲載の情報は2016年3月20日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございます。出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。